



旭自治会 だより

令和5年1月16日 第57号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: kameoka-asahi.com (QRコード)



1月15日 小正月

旭町の皆様、新年おめでとうございます。皆様には新年をご健勝にてお迎えになりお慶び申し上げます。

旭町自治会事務所は、1月6日に仕事始めをさせていただき、平常の業務を開始しました。昨年は自治会運営に暖かいご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。今年令和5年も変わりなくご協力の程よろしくお願いたします。

さて、今年も早15日(小正月)を迎え、注連縄、門松など正月飾りは15日までで「松の内」が過ぎ、各地で「とんど焼き」が行われ正月の飾り物が燃やされ、一年の無病息災を願い祭られます。また、1月15日は私等にとりましては「成人の日」の祝日のイメージがまだ残ります。平成12年(2000年)に1月の第2月曜日に変わるまでは各地で「成人式」が行われていました。この成人も令和4年(2022)4月1日から18歳になり、大きく変わってきました。明治から140年間変わらなかった民法が改正されたからでした、それから初めての成人式となる訳ですが、あまりにも多人数になるということで各地では「20歳を祝う会」として、今まで通りに20歳の方々を対象とした式典が多かったようです。何はともあれ、新成人となられました皆様おめでとうございます、前途輝かしい未来を目指しご健勝でご活躍されますことを、ご期待申し上げます。

旭町の皆様には、今年も穏やかで平和な年となりますよう、また、旭町のコミュニティ活動が平穩に実施できますようお願い、自治会仕事始めのご挨拶といたします。

旭町自治会長 吉川 肇

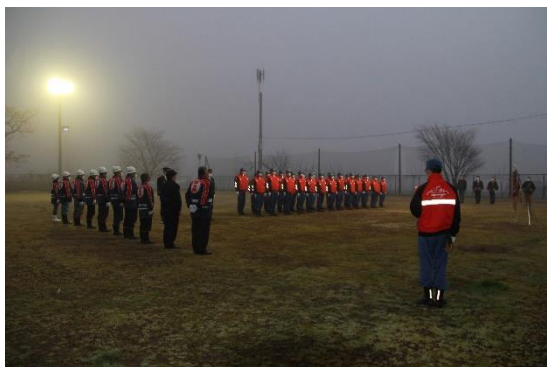
募金のご協力有難うございました

◎ 赤い羽根共同募金.....79,800円

◎ 歳末たすけあい運動募金.....80,200円



亀岡市消防団旭分団 出初式 開催



令和5年1月8日(日)午前7時から亀岡市消防団旭分団30名・旭町自治会長・自主防災会長以下7名、来賓として馬路駐在所・旭分団OBを迎え出初式が挙行されました。旭分団長より令和5年の誓いの訓辞が述べられました。旭町自主防災会長による「乾杯」の発生が行われました。

令和5年 旭町が安心・安全な街でありますように宜しくお願いいたします。

令和4年 年末特別警戒 2日間実施

肌寒い中、旭消防分団員を中心に12月28日・29日の2日間年末特別警戒が実施されました。1日目は、旭コミュニティグラウンドで旭町消防分団、旭町自主防災会が、亀岡市理事者等幹部から激励を受けました。2日目は、亀岡市消防団中野副団長から激励を受けました。この2日間とても肌寒い中、亀岡市消防団旭分団は本部と各区の屯所に夜遅くまで特別警戒の出動頂き有難うございました。



10日の京都新聞に「進む少子高齢化」 生活の足 送迎サービス、継続不安

商店や病院が少ない市周辺地域の交通網への課題が載っていました。その中で旭町の取組「旭サポートカー」も取り上げられていました。

『ドア・ツー・ドアで利用できる送迎サービスは生活の命綱となりつつある。ただ、どの地域も担い手の多くは65歳以上。ほぼボランティアで成り立っており、いつまで運転手を確保でき運行を続けられる保証はない。高齢者の移動を保証する仕組みづくりは待ったなしである』

市の取り組みへの課題ともいえる提案がされていました。

「旭サポートカー」も持続可能な事業となるよう、さらには「助かるわ!」「行くのが待ち遠しいわ!」との声が聴けるよう努力や工夫を続けてまいります。皆さんの率直な意見や感想をお願いいたします。

旭サポートカーは、高齢者の移動を支える重要な役割を果たしている。しかし、運転手の高齢化や不足が懸念されている。市は、持続可能なサービスを実現するために、新たな取り組みを検討している。

旭サポートカーは、高齢者の移動を支える重要な役割を果たしている。しかし、運転手の高齢化や不足が懸念されている。市は、持続可能なサービスを実現するために、新たな取り組みを検討している。

1月行事お知らせ

- ・1月 15日(日)・・・亀岡市議会議員選挙 告示
- ・1月 15日(日) 29日(日)・・・特別感謝デー なごみの里あさひ 午前9時から
- ・1月 21日(土)・・・「亀岡の生んだ偉人 中川小十郎について
現代型日本教育を創出した男の生涯」 亀岡川東学園 午後2時から
- ・1月 22日(日)・・・亀岡市議会議員 選挙